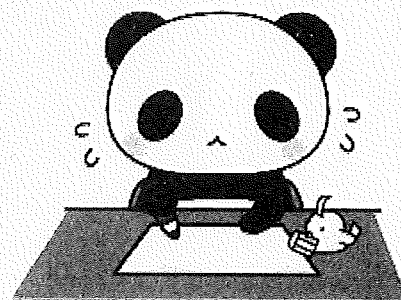
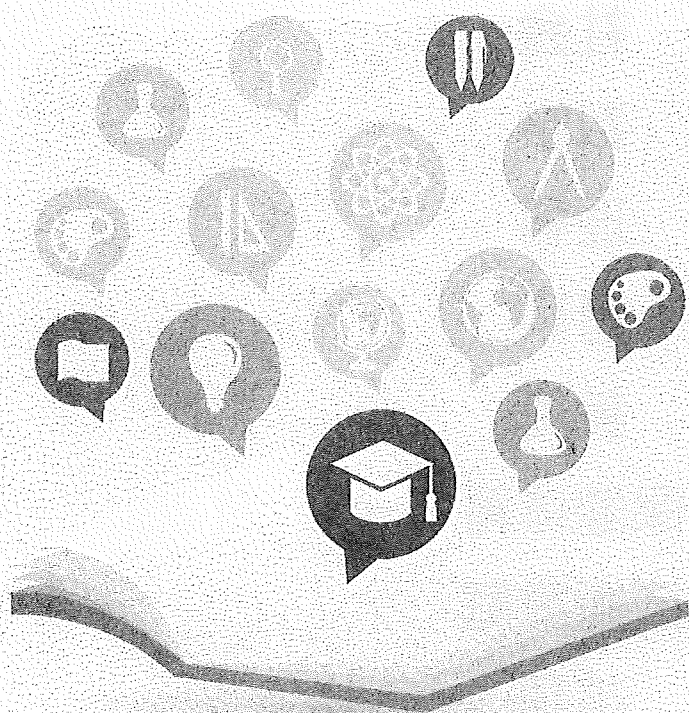


平成30年度

学習と評価の手引き

3年生



京都市立太秦中学校

～目次～

評価・評定について
家庭学習について

《各教科のページ》

国語

社会

数学

理科

音楽

美術

保健体育

技術家庭

英語

年間学習内容一覧

◎評価・評定について◎

太秦中学校では、年に5回の定期テストが実施されます。(5, 6, 10, 11月と3年生は1月, 1・2年生は2月に実施予定) 通知表は学期末ごとに渡されます。夏休み前・冬休み前には三者懇談が予定されており、懇談資料として評価・評定が出されます。区切りごとに自分の成績を把握し、年度末の自分の成績アップにつながるよう学習の励みにして下さい。

～観点別学習状況の評価(目標に準拠した評価)～

各教科の目標に基づいて設定された観点について、その達成状況进行评估してあります。

A : 十分満足できる **B : おおむね満足できる** **C : 努力を要する**

～評定(目標に準拠した評価)～

各教科の観点別学習状況の評価に基づいて、それを総括して評価してあります。

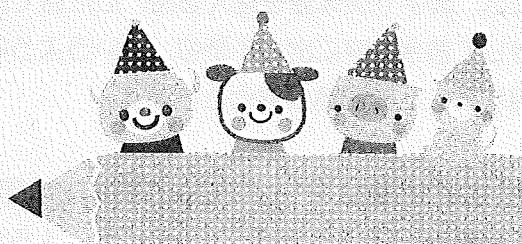
5 : 十分満足できるもののうち、特に程度の高いもの

4 : 十分満足できるもの

3 : おおむね満足できるもの

2 : 努力を要するもの

1 : 一層努力を要するもの



* 総合的な学習の時間の評価は、1年間の取り組みを総括して年度末の通知表に文章表記します。

* 道徳の評価は、1年間の取組みを総括して文章表記し、年度末に通知表とは別途渡します。

* 育成学級の評価については、個々の生徒の発達を考慮した上で目標を設定し、どの程度その目標に到達したかを評価し、文章表記します。

◎家庭学習について◎

1. 毎日欠かさず家庭学習をしよう！

太秦中学校では、小学校のように毎日「宿題」を配ることはしていません。なぜなら、家庭学習＝宿題ではないからです。課題を与えてもらって当然と考えていませんか？家庭学習とは、『自分が必要だと思う学習を自分で取り組む』のが基本です。“日々の授業で疑問に思ったことを調べてみる。”“明日は苦手な教科があるから、予習をしておこう。”“小テストが〇〇日にあるから、その勉強をしよう。”“〇〇日に提出の提出物があるからやっておこう。”このように、自分で判断して自分で学習をすすめるという習慣をつけましょう。計画的に時間を有効利用することを覚えたら、社会に出た時にその力は非常に役に立ちますよ。

家庭学習のすゝめ

※あくまで一つの提案です。個人差があるので、この通りが誰にとっても1番！な方法ではありません。自分のベストを見つけてくださいね♪

①家庭学習をする場所は？…「リビング or キッチンの近く」がおススメ☆

なぜなら、人の目がある場所だから。自分の部屋で勉強していたはずが、気付いたらスマホでYouTubeを見ていた！というその君。人の目があるところでやれば、気が緩んだ時に注意してもらえますよ。

②何かを覚える時は？…「五感をフル活用する」のがおススメ★

例えば、漢字や英単語を覚える時、ただ目で見て読んで覚えようとしてもなかなか頭に入りません。必ず手を動かして書き、声に出して読む、というようにして覚えましょう。視覚だけでなく触覚・聴覚など五感をフル活用することで記憶が強化されます。

③勉強する時間は？…「自分の集中力が保つ最長時間」で目標時間を目指すのがおススメ☆

1時間勉強したい！と思っているのに、15分しか集中力が持たない。。。という人は、15分やって休憩するを4回繰り返しましょう。30分もつ人は2回繰り返します。「昨日は調子が良いから2時間やった。今日はなんだか気分がのらないからやらなくていいや。(昨日いっぱいがんばったし♪)」これは良くないパターンです。大切なのは、毎日やることです。

2. 教科で出される課題と学習確認プログラムの予習・復習シートを活用しよう！

教科で出される課題は積極的に取り組みましょう。「家庭学習で何をやらたいのかかわからない」という人は、教科の先生に（苦手な教科でも得意な教科でも）「今取り組んでおくと良い勉強はありますか？」と聞きに行きましょう！また、学習確認プログラムの時期になると、予習（復習）シートが家庭学習課題として出されます。しっかりと取り組んで提出をしてください。学習確認プログラムをきっちり取り組むことによって、3年間の勉強が復習できるようになっています！

3 年国語科

1. 学習のアドバイス

- ・ 国語科の授業で学習すること

「読む」「聞く」…他者の述べていることを正確に理解して自分の中に取り入れる。

「書く」「話す」…自分のいいたいこと・感じていることを他者に正確に理解してもらう。

書写においては、日本語を美しく書く。

「知る」…漢字、文法、語句などを学び、適切に使えるようになる。

そして「感じる」「考える」…すべての学習の基本になります。多くのことを感じ、考え、心と感性を豊かにしていこう。3年生は1・2年での学習を基礎としてさらに多くの種類の書物にふれ、読書量を増やしていきましょう。

- ・ 国語科の学習方法

予習	・ 学習しているところを読む。わからない漢字、語句などは調べておく。 ・ 読んでわからないところ、疑問に思ったところなどをノートにメモしておく。
授業	・ プリント、課題などにしっかり取り組む。 ・ 黒板に書かれた内容をしっかりとノートに書く。ノートはいろいろと工夫しよう。黒板に書かれない内容でも重要なことはノートにさっとメモしよう。 ・ 「予習」の際のメモの内容を解決しよう。 ・ スピーチなどの活動には積極的に取り組もう。 ・ 文章を書くときは、常に読む手に伝わるかを意識しましょう。また、人の書いた文章のいいところは取り入れましょう。
復習	・ その日の学習内容をノートを見ながら振り返り、授業内容をしっかりと理解する。 ・ 漢字や語句などは自主勉強で身につけよう。
テスト前	・ テストで出題される内容は、授業でやったことがほとんどです。ノートやプリントを見直してポイントをまとめておこう。また、教科書を何度も読んでおこう。漢字や語句、文法に関する内容は何度もやり直そう。繰り返し学習することが大切です。
テスト後	・ 問題用紙、解答用紙、模範解答などをしっかりと保管しておこう。必要であればやり直すことも大事です。なぜ自分が間違えたのかを理解して、次のステップに進もう。
その他	・ 提出物は必ず期限を守って出すこと。 ・ 朝読書の時間だけではなく、自分で時間を見つけて読書をしよう。その際同じようなジャンルに偏ることなく、古今東西のいろいろな種類の本を読もう。 ・ 国語で学習する内容は日本の文化とも大きな関係があります。いろいろな知識を常に吸収しよう。

2. 観点別評価の各観点の意味と評価方法

観点Ⅰ…「国語への関心・意欲・態度」（国語に対する関心を深め、国語を尊重し、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。）

評価項目

◇ノート ◇授業中の様子 ◇宿題 ◇提出物 ◇発表 ◇テスト

観点Ⅱ…「話す・聞く能力」（自分の考えを豊かにしたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話せたり的確に聞き取れたりする。）

評価項目	◇表現 ◇グループでの話し合い ◇発表 ◇聞き取りテスト 等
観点Ⅲ…「書く能力」(自分の考えを豊かにしたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書ける。)	
評価項目	◇定期テスト ◇作文 ◇ノート ◇ワークシート 等
観点Ⅳ…「読む能力」(目的に応じて様々な文章を的確に読み取れたり読書に親しんだりすることができる。)	
評価項目	◇定期テスト
観点Ⅴ…「言語についての知識・理解・技能」(表現と理解に役立てるための音声、語句、語彙、文法、漢字等について理解し、知識を身に付けている。書写では、文字を正しく整えて速く書ける。)	
評価項目	◇定期テスト ◇書写 ◇小テスト ◇作文 等

3年 社会科

1. 学習のアドバイス

・社会科の授業で学習すること

3年生の社会科では、近代～現代史（歴史的分野）と経済や国のしくみについて（公民的分野）を学びます。特に公民的分野は、今まさに生きているこの社会のしくみと理念を学習します。広い視野を持って、様々な情報から必要な情報を読み取り、自分で考える…そんな学習をしていきましょう。

・社会科の学習方法

予習	教科書を事前に読んで、分からない語句が出てきた場合は色をつけておく。授業で意味をチェックできるように。
授業	始まる前にファイル、教科書を準備。集中して先生や他のクラスメイトの話を聞く。ワークにはどんどんメモをとっていく。質問や、疑問など、挙手をして発言する。授業の最後のまとめは自分の言葉で、わかったことを説明する。
復習	その日習ったこと、分かったことをその日のうちに確認、整理し理解するよう心がける。
テスト前	まずは教科書の範囲をしっかりと読み込む。語句だけを覚えるのではなく、物事のつながりをつかむことを意識する。問題を出し合う場合は「〇〇について説明して。」「〇〇はどういうものか。」という問題を出し合う。
テスト後	テストは必ず残しておく。もう一度最初から解いてみて、それでも分からなかったところは苦手なところなので、教科書やノート、プリントで確認する。
その他	重要語句を基礎知識として、覚えることは必ず必要。しかし、覚えた重要語句の意味や、なぜその制度が必要なのか…などは覚えるではなく、理解。そしてそれを、自分の言葉で表現することができるということ大事なことです。「社会科＝暗記」ではない。

2. 観点別評価の各観点の意味と評価方法

観点Ⅰ…社会的事象への関心・意欲・態度（学習への取り組みの姿勢を評価します。）	
評価項目	◇提出物（ファイルや宿題） ◇授業でのようす
観点Ⅱ…社会的な思考・判断・表現（与えられた情報をまとめたり、説明したりする力を評価します。）	
評価項目	◇まとめテスト ◇小テスト・レポート
観点Ⅲ…資料活用の技能（資料を読み取り、利用する力を評価します。）	
評価項目	◇まとめテスト ◇年表 ◇小テスト
観点Ⅳ…社会的事象についての知識・理解（重要語句の名前や意味を覚えられているかを評価します。）	
評価項目	◇まとめテスト ◇小テスト

3年数学科

1. 学習のアドバイス

・数学科の授業で学習すること

- ① 数量や図形に関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得する。
- ② 事象を数理的に考察し表現する能力を高める。
- ③ 数学的活動の楽しさや数学の良さを実感する。
- ④ ①～③を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

・数学科の学習方法

予習	次の授業でどんな内容を学習するのかを確認しておきましょう。
授業	❖ 黒板に書かれている内容をノートにまとめ、できれば口頭で説明した部分についてもメモしておきましょう。 ❖ 各自で問題を解くときには自分でじっくり考え、グループワークのときは意見を活発に出し合い、発表しましょう。
復習	❖ その日に習った内容をもう一度解き、問題集を使って定着させましょう。 ❖ 教科書やプリントを活用し、授業でとりあげなかった問題などにも取り組みましょう。
テスト前	❖ テスト範囲の教科書、ノート、プリントを活用して、学習内容をしっかりふり返りましょう。 ❖ ふり返りが終われば、問題集をくり返し、くり返し何度も復習しましょう。（特に、間違えた問題と何となく正解した問題について重点的に） ❖ テストのための勉強だけではなく、入試にもつながる勉強の仕方をしましょう。
テスト後	❖ 問題用紙、解答用紙を保存しておきましょう。しっかり保存できれば、入試勉強の時、自分の到達度を確認するのに役立ちます。 ❖ テストが返却されたら次の時間の授業までに、間違えたところをしっかりと復習し、次回ではできるようにしておきましょう。
その他	❖ 数学は問題に数多くふれることが大切。解けば解くほど、数学の力は必ずついていきます。 ❖ 予習よりも復習の方が大切です。授業を受けた後にどれだけ多くの種類の問題に触れることができるかが重要です。（そのために問題集を徹底的に活用しましょう。）

2. 観点別評価の各観点の意味と評価方法

観点Ⅰ …「数学への関心・意欲・態度」（数学的な事象に関心をもつとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を活用して考えたり判断したりしようとする。）			
評価項目	◇提出物	◇授業での様子	◇レポートやリピートの取組内容
観点Ⅱ …「数学的な見方や考え方」（事象を数学的にとらえて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。）			
評価項目	◇定期テスト	◇小テスト	◇ノート・プリント
観点Ⅲ …「数学的な技能」（事象を数量や図形などで数学的に表現し処理する技能を身に付けている。）			
評価項目	◇定期テスト	◇小テスト	
観点Ⅳ …「数学的な知識・理解」（数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付けている。）			
評価項目	◇定期テスト	◇小テスト	

3年 理科

1. 学習のアドバイス

3年生の理科では、**運動とエネルギー**（物理分野）・**生命のつながり**（生物分野）・**化学変化とイオン**（化学分野）・**地球と宇宙**（天体・地学分野）について学びます。理科は分野によっては、苦手なものもあれば、得意なものもあるだろうと思います。自然の中からいろいろな法則や知識を得ることで、生きていく上で有用なこともあり、正しい判断を行うことにもつながります。正しく理解し、判断したり、表現したりする力を理科の学習を通して身につけましょう。

『振り返りシート』を使って、毎時間の学習の『めあて』を明らかにし、学習の内容、達成度、気づき、態度などをふりかえり、1時間ごとの学習について自己評価をていねいに、確実にいきましょう。

《理科の学習方法》

予習	教科書を一度読んでおくと、中身やその説明がより分かりやすいはずですが、分からないことは放っておかず、調べる癖をつけると身につくことも多くなります。特に、 実験・観察の目的や方法は事前に良く理解して行うように しましょう。
授業	プリントを使って行います。大切な話や板書することをノートに写しておく。実験や観察をする時には、重要なポイントや注意点・操作方法を理解しておく。 実験・観察の結果を分析して、わかったことをその理由とともに、自分のことばで説明できるようにしましょう。
復習	授業プリントやノートを見直す。プリントやノートの内容を人に説明するとより記憶に残ります。重要語句をまとめておくと、テスト前に助かります。
テスト前	問題集を使って、各単元の基礎問題から、応用問題まで何回も解きましょう。分からないものは回答の解説を見たり、分かる人に聞いて理解したりが大切です。
テスト後	テストはファイリングして保存しておく。間違えた問題の解き直しをしておく。
その他	理科は全部分かるようになるより、好きな分野を深めて行って、余裕をもって、苦手分野に取り掛かる。苦手分野は、よく分かっている人に教えてもらったり、コツを聞いたりするのでもいいかもしれません。

2. 観点別評価の各観点の意味と評価方法

観点Ⅰ…自然事象への意欲・関心・態度（学習への取り組みの姿勢を評価します。）	
評価項目	◇提出物 ◇授業での様子 ◇レポート
観点Ⅱ…科学的な思考・表現（与えられた情報をまとめたり、説明したりする力を評価します。）	
評価項目	◇まとめテスト ◇実験プリント ◇レポート
観点Ⅲ…観察・実験の技能（観察や実験の際の器具の使い方・方法・技能について評価します。）	
評価項目	◇まとめテスト ◇小テスト ◇実験プリント ◇観察・実験の様子
観点Ⅳ…自然事象についての知識・理解（重要語句や意味がわかっているかを評価します。）	
評価項目	◇まとめテスト ◇小テスト

3年 音楽科

1. 学習のアドバイス

- 音楽科の授業で学習すること 音楽活動の楽しさや感動を体験することを通して将来にわたって音楽を愛好する力が身に付くようにします。
最後の合唱コンクールでは心が震えるような感動できる合唱を目指しましょう
- 音楽科の学習方法

予習	学習する楽曲や、作曲者など調べておく
授業	「音楽を楽しむ心」を持って入室し一生懸命その日の内容に取り組むこと
復習	新しく覚えたことなど歌やリコーダーで確認。次の時間楽しく演奏できるようにしよう
テスト前	授業で出されたプリント、教科書に書き込んだことなど確認しておく。
テスト後	振り返りを大切に、間違いは確実に理解できるようにしておく。 テストに関する資料は大切に保存しておこう
その他	実技テストは自分の力がしっかり発揮できるようまた、さらに曲想を生かして表現できるよう日頃からよく歌い、リコーダーは練習してください。

2. 観点別評価の各観点の意味と評価方法

観点Ⅰ… 音楽への関心・意欲・態度	
評価項目	◇「演奏するとき」「話を聞くととき」「鑑賞するとき」それぞれの学習場面に対してけじめをつけ関心を持って意欲的に取り組むことができる。◇観点Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの基準に意欲的に取り組み、それぞれの目標をクリアしている。 評価方法：まとめテスト1、3、・授業での様子・学習プリント・実技テスト・振り返りシート
観点Ⅱ… 音楽表現の創意工夫	
評価項目	◇音楽表現に必要な基本的な事項（速度、拍子、調、リズム、アーティキュレーション、記号の意味など）を理解し、表現の工夫を考え、実践することができる。 ◇曲に込められた意図を感じ取り、フレーズ、音のつながりや歌詞を生かす基礎知識を身に着けたうえで、どのように表現するかの思いや意図をもって工夫することができ、具体的に述べるができる。 評価方法：授業中の活動・まとめテスト1、3・学習プリント・実技テスト・授業テストなど
観点Ⅲ… 音楽表現の技能	
評価項目	◇ 創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけ歌唱、器楽で表現できる ◇ 正しい姿勢で正しい音程、豊かな声量、豊かな表情で演奏できる。 ◇ 楽曲が持っている音楽的な特徴を生かして曲想豊かに表現できる。 ◇ 正しい音程感や豊かな音楽センスを持ち、自分のパートの旋律やリズム音程を歌やリコーダーで表現するだけでなく他のパートとの関わり感じ、その意見を述べるができる（A） 評価方法：授業中の活動・まとめテスト1、3・学習プリント・実技テスト・実技チェックなど
観点Ⅳ… 鑑賞の能力	
評価項目	◇ 音楽の響き、楽器や声の特徴をを理解して音楽表現の豊かさを感じ、その良さを具体的に述べるができる ◇ 音楽の特徴、その背景となる文化や歴史、また他の芸術と関連付けて理解し鑑賞できる。 ◇ 合唱など自分たちの演奏を正確に客観的に聴くことができその良さや課題点を挙げるができる。 評価方法：授業中の活動・まとめテスト1、3・学習プリント・夏課題など

3年 美術科

1. 学習のアドバイス

・美術科の授業で学習すること

- ① 美術に親しみ、表現する・作品を味わうという幅広い活動を通して、感性を豊かにし、自分らしい表現をすることの喜びを味わおう。
- ② 生活の中の美術のはたらきや作品のよさや美しさを味わったり、文化について理解を深めたりすることによって、感じ取る力や個性を認め合う心を育てよう。
- ③ 美術に関する基本的知識・描き方・作り方を知り、制作に役立てて創造の幅を広げよう。

それぞれの持っている感性や表現力をどう伸ばせるか、作品をよりよいものに仕上げるためにどんな作業が必要か、「自分なりに考えて工夫」をしましょう。真剣に取り組めば努力すると、作品に気持ちが伝わって表れます。作品の良さに気づき、感じたことや考えたことを作品や言葉でいかに表現できるか。美術では、その力を大切にしていきます。

・美術科の学習方法

予習	課題のための資料やアイデアを、実際の制作・作業を始める前に準備しておくことが大切です。身の回りのもので利用できそうなもの、参考になりそうなものを注意深く探し、アイデアを集めておくようにしましょう。
授業	教科書、資料集、ワークシート等を使って学習します。 単元によってポスターカラーを使用する事もあります。
復習	作品や作者、表現方法などについて、教科書や資料集を見直し理解を深める。
テスト前	授業で学習したことを中心に、資料集、教科書、配布したプリント類などをきちんと確認しよう。
テスト後	問題用紙、解答用紙は保存しておき、間違えたところはきちんと理解できるようにしておこう。
その他	忘れ物をしないこと。 提出物は必ず期限を守って出すこと。

2. 観点別評価の各観点の意味と評価方法

観点Ⅰ…「美術への関心・意欲・態度」(主体的な学習への取り組み)	
評価項目	◇ワークシート ◇授業中の様子(発表含む) ◇宿題・提出物 ◇テスト 等
観点Ⅱ…「発想や構想の能力」(感性や想像力を働かせ、構成などを工夫し、表現の構想を練っているか)	
評価項目	◇作品 ◇ワークシート ◇アイデアスケッチ ◇テスト 等
観点Ⅲ…「創造的な技能」(材料や用具を生かし、制作の順序を考えるなどして創意工夫しているか)	
評価項目	◇作品 ◇ワークシート ◇アイデアスケッチ ◇テスト 等
観点Ⅳ…「鑑賞の能力」(造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取れるか)	
評価項目	◇鑑賞シート ◇ワークシート ◇テスト 等

3年 保健体育科

1. 学習のアドバイス

・保健体育科の授業で学習すること

保健では、「健康な生活と病気の予防」の単元を学びます。具体的には、健康に関する食事や運動習慣、生活習慣を、どのように良いものにしていくのか考えたり、さまざまな病気や感染症、その予防法について学んだりします。授業を終えて身に付けた知識を、普段の自分の生活に生かし、自分の生活や心身の状態をより良くしていきましょう。

体育では、さまざまな競技を通して、特性に触れ、基本的な運動習慣を身に付けましょう。卒業しても続けていきたいと思える、自分に合ったスポーツを見つけていきましょう。

・保健体育科の学習方法

予習	「新編 新しい保健体育」、「中学体育実技」の教科書を見ておく。
授業	男女別習で行い、グループ活動を通して、目標達成や課題解決を目指す。
復習	教科書、授業プリントを復習する。
テスト前	授業で行った内容を復習する。テスト前に配布されたプリントなども活用する。
テスト後	テスト問題で間違えたところを見直しし、理解する。
その他	

2. 観点別評価の各観点の意味と評価方法

観点Ⅰ…関心・意欲・態度（学習への取り組みの姿勢を評価します。）	
評価項目	◇提出物 ◇授業のようす
観点Ⅱ…思考・判断・表現（課題について、まとめたり、説明したりする力を評価します。）	
評価項目	◇提出物 ◇授業のようす ◇まとめテスト
観点Ⅲ…技能（基本的な動きや効率のよい動きを身につけられているかを評価します。）	
評価項目	◇実技テスト ◇授業のようす
観点Ⅳ…知識・理解（重要語句の名前や意味、スポーツのルールなどを覚えられているかを評価します。）	
評価項目	◇まとめテスト

3年 技術・家庭科

1. 学習のアドバイス

・技術・家庭科の授業で学習すること

- 生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。
- 生活の自立と共生を目指す。

・技術・家庭科の学習方法

「予習」

- ・ 日常の家庭の生活に興味をもつ。

「授業」

- ・ 授業時間を大切にする。・ 話を集中して聞く。
- ・ 指示にしたがい積極的に行動する。とくに作業の際には、衛生、安全に気を付けて行動する。
- ・ 提出物、提出プリントはかならず名前を記入し提出日、提出時間を守る。
- ・ 学習プリントには授業の話で大切なことをメモする。

「復習」

- ・ 学習したことを家庭生活で生かす工夫をする。
- ・ 日常の家庭の仕事をすすんで行う。

「まとめテスト前」

- ・ 授業でのポイントを復習し、おぼえる必要のあるものをおぼえる。
- ・ 学習プリントを中心に学習する。

「まとめテスト後」

- ・ 問題用紙、解答用紙を保存し間違ったところを理解する。

「その他」

- ・ 生活の中から課題を見つけ、学習したことなどを生かし、解決するというプロセスを繰り返してより快適な生活をつくっていく。

2. 観点別評価の各観点の意味と評価方法

・観点Ⅰ「生活や技術への関心・意欲・態度」

- ・情報の学習への興味、関心を持っている。
- ・コンピュータを使いより良いものを製作しようとしている。
- ・学習内容をワークシートにきちんとまとめようとしている。
- ・家庭・家族の機能、地域の人々の生活と家庭生活の関連について関心をもって考えようとしている。
- ・幼児の生活について関心を持って考えることができる。
- ・幼児の発達と家族について関心を持って取り組もうとしている。
- ・幼児の生活と幼児とのふれあいについて関心を持ち、幼児と適切に関わろうとしている。
- ・食生活の課題、調理の応用について関心を持って考えようとしている。

・観点Ⅱ「生活を工夫し創造する能力」

- ・学んだことを工夫して生活に生かそうとしている。
- ・作業中に工夫してよりよく製作品を製作しようとしている。
- ・地域や家庭とのかかわり方で自分なりに工夫し考えようとしている。
- ・簡単な幼児のおもちゃの製作に関して幼児にふさわし工夫をしようとしている。
- ・幼児とのふれあいについて（幼時の発達段階などをふまえ）工夫をしてふれあおうとしている。
- ・地域の食材を使用した調理を考え工夫しようとしている。

・観点Ⅲ「生活の技術」

- ・学習内容を生かして生活に役立つものを製作できる。
- ・計測と制御の学習を生かして簡単なロボットを制御することができる。
- ・フローチャートについて理解し作成することができる。
- ・幼児の心身の発達の特徴や子供が育つ環境についての要点をまとめることができる。
- ・幼児とのふれあいについて（幼時の発達段階などをふまえ）これまでの学習をいかし簡単なおもちゃや（おやつなど幼児の生活に役立つもの）を作ることができる。
- ・食品の適切な選択・技能と衛生・安全に注意し簡単な日常食や地域の食材を生かした調理をすることができる。

・観点Ⅳ「生活の技術についての知識・理解」

- ・情報についての学習内容について理解している。
- ・幼児の心身の発達の特徴と子供が育つ環境と家族の役割について理解している。
- ・幼児にとってのおもちゃの意義役割について理解している。
- ・地域の人々とのボランティア活動や家庭の仕事について理解している。
- ・幼児とのふれあいで大切な事項について理解している。
- ・簡単な日常食や地域の食材を用いた調理から食生活の安全と衛生に関する基礎的な知識を身につけている。

3年 英語科

1. 学習のアドバイス

・英語科の授業で学習すること

教科書や副読本、音楽やDVD等、様々な教材を通して、「読む」「聴く」「書く」「話す」4技能を総合的に学び、英語を用いて人と繋がることが出来る力を身に付ける。

・英語科の学習方法

予習	教科書・副読本を前もって自分で読んだ上で授業に臨む。
授業	授業中にたくさん読んで、たくさん書く。そこで覚えたものを授業でたくさん使う。 自分の言いたいことに挑戦する。新しい表現を用いて、言えるようにする。
復習	授業でしたことを「自分の手と頭で」もう一度繰り返す。 基本文をもとに、単語を入れ替えてオリジナルの文を言う・書く。
テスト前	授業でしたことを「自分の手と頭で」何度も繰り返す。単語と英文を読んで書いて覚える。
テスト後	間違った所を中心に「なぜ間違ったか」をハッキリさせ、何度も繰り返し解いて理解する。
その他	

2. 観点別評価の各観点の意味と評価方法

観点Ⅰ… コミュニケーションへの関心・意欲・態度 （授業中や家庭学習での頑張りを評価）	
評価項目	◇提出物（ノート・プリント・ファイル等） ◇授業中の取り組み姿勢
観点Ⅱ… 表現の能力 （英語で自分が伝えたいことを話せる・書ける）	
評価項目	◇Speaking Test （音読や発表など） ◇Talk & Talk （さまざまな表現をすることに挑戦する）
観点Ⅲ… 理解の能力 （英語の文章を読んだり、聞いたりして内容が理解できる）	
評価項目	◇まとめテスト
観点Ⅳ… 知識・理解 （単語・文法・語法など、英語の知識がある）	
評価項目	◇まとめテスト ◇単語テスト・小テスト

3年生学習内容一覧表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	深まる学びへ	視野を広げて	言葉を見つめる/読書生活を豊かに			状況の中で		いにしへの心と語らう		論旨を捉えて	読書に親しむ	未来へ向かって
社会	歴史的分野					公民的分野				公民的分野		
	近代の日本と世界	現代の日本と世界				私たちと現代社会	私たちの生活と文化	国民主権と日本の政治	私たちの生活と経済	国民の福祉	私たちと関係社会	私たちの課題
数学	式の展開と因数分解	平方根	二次方程式			関数 $y = ax^2$		図形と相似		円の性質		
理科	運動とエネルギー			生命のつながり		生命のつながり	自然界のつながり	化学変化とイオン	地球と宇宙	地球と宇宙	地球と明るい未来のために	
音楽	日本語のもつ抑揚の美しさを感じて表現しよう	諸外国の歌曲や音楽を味わおう	ポピュラー音楽の特徴を味わおう	曲の背景を知り、曲を味わおう		曲のしくみや歌詞と旋律との関わりを理解して表現を深めよう		アンサンブルを楽しみながら様々な曲の特徴を理解しよう	音楽の歴史を学習し、時代の流れを感じよう	日本の伝統芸能の良さを理解して魅力を味わおう	卒業への思いを歌詞に込めて表現しよう	
美術	手のスケッチ	私の色50色	鑑賞 ジャポニスム	はんこのデザイン		はんこの制作	鑑賞 ゴッホ	自画像制作・鑑賞		堆朱工芸制作・鑑賞		
保健	健康な生活と病気の予防 ①～⑦					健康な生活と病気の予防 ⑧～⑪						
体育	球技(バレーボール)			水泳		陸上競技(高・R)	球技(卓球)	球技(ソフトボール)	陸上競技(長距離)	球技(バスケットボール・体育理論)	サッカー	
家庭	幼児の生活と家族					幼児の生活と家族				調理実習	家族・家庭	
技術	コンピュータの仕組み			情報モラル	デジタル作品の製作	フローチャートの学習			ロボットの計測制御	ロボットの計測制御	卒業アルバム製作	
英語	unit10 presentation1	unit1 daily scene1	unit2 daily scene2	unit3 daily scene3 presentation2		let's read! unit4 daily scene4	unit5 daily scene5	unit6 daily scene6	presentations3	let's read2	let's read3	3年間の復習